学校番号	109

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　古典探究」（数研出版）						
副教材等	読解を大切にする　体系古典文法　九訂版（数研出版） イラストとシーンで覚える Look@古文単語 337　改訂版（啓隆社） リード古文２　標準編（啓隆社） トータルサポート新国語便覧（大修館書店） 大学入試国語頻出問題 1200　五訂版（いいずな書店） 古典文法 WORKS　助動詞の核心　文章編（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．古文単語については、事前に意味調べを行い、たくさんの意味の中で本文ではどのような意味がふさわしいかを自分で判断して予習を行いましょう。
２．１・２年次に身につけた古語の意味や文法の知識を駆使し、想像力も働かせて、自分で口語訳ができるようになりましょう。
３．古文の世界観を肌身で感じ取り、今を生きる我々との文化や生活様式や考え方や感じ方の「違い」や「同じところ」を見つけて味わうことができるようになりましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古語、古典文法、古典常識、古典常識、歴史的な背景などを十分に理解して文章の内容を把握することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章の内容や構成、登場人物の心情を的確にとらえることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・古典を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方をさらに広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の伝統的な言語文化に対する理解をさらに深めている。	論理的に考える力や、他者に深く共感し、豊かに想像する力をさらに伸ばし、古典の文学作品などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、伝え合う力をより高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、自分の思いや考えを広げ、言葉がもつ価値への認識を深めているとともに、言葉を効果的に使うことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	源氏物語 ［教材］小柴垣のもと	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について理解を深めている。 b[読]：『源氏物語』におけるこの単元の位置づけや人物関係を把握し、内容の理解を深めている。 c：「垣間見」などの当時の文化を理解し、光源氏と若紫の出会いの場面に興味を持って、 古文に親しもうとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	枕草子 ［教材］二月つごもりごろに	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について理解を深めている。 b[読]：『枕草子』の文学史的な価値を理解した上で、この単元の内容の理解を深めている。 c：作者の性格や当時の和歌のやりとりに興味を持って、古文に親しもうとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	漢詩 ［教材］中国の詩	a：漢文を読むのに必要な訓読のきまりや句法について理解を深めている。 b[読]：本文の対句や押韻など、表現効果やその意図を的確に読み取ることができる。 c：漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	大鏡 ［教材］南院の競射	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について理解を深めている。 b[読]：歴史物語というジャンルに触れ、登場人物それぞれがどのような人物像で描かれているかを読み取る。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	蜻蛉日記 ［教材］うつろひたる菊	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について理解を深めている。 b[読]：日記文学というジャンルの文章に触れ、作者の立場や当時の結婚の在り方から、当時の女性の心情を読み取る。 c：、現代とは異なる生活や文化に興味を持って、古文に親しもうとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	和泉式部日記 ［教材］薫る香に	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について理解を深めている。 b[読]：日記文学というジャンルの文章に触れ、贈答歌のやりとりを理解した上で、作者の心情をとらえる。 c：。書き手が異なることで前単元の日記とは雰囲気が違うことに興味を持って、古文に親しもうとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	〈漢文〉思想 ［教材］孟子・荀子	a：漢文を読むのに必要な訓読のきまりや句法について理解を深めている。 b[読]：文章に表れているものの見方、感じ方や考え方、人間、社会、自然などに対する考えをとらえる。 c：性善説・性悪説の類似点・相違点をまとめ、自分の考えを深めようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認

	無名草子 ［教材］清少納言と紫式部	a：古典を読むために必要な古語の意味や文法について、これまでに身につけた知識を使って理解を深めている。 b[読]：古文の評論というジャンルに触れ、筆者が二人の人物をどのようにとらえているか理解する。 c：積極的に本文の内容を整理し、自分で二人の人物の人生の比較ができる。	記述の点検・定期考査	記述の確認および分析・定期考査	記述の分析・行動の確認

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間